

くるみ便り



先日、自宅の軒下に生後2ヶ月程の子猫が迷い込んできました。テンとソラの鳴き声を聞いて、「どこにいるから助けて。」と言わんばかりに大きな声で鳴き続けていました。お母さんを探していたのでしよう。

子供たちが、そのままでは放っておけないと、その子猫を保護し、お手製の段ボール箱のゲージで一晩を過ごしました。たまたま近所に二匹目を飼いたいご夫婦がいらっしゃったのを思い出し、お知らせしたところ、とんとん拍子にことが運び、飼い主が決まりました。

もし、誰も飼わなかったら家で飼いたいと言っていた次女（小6）は、今にも泣き出しそうな顔でその子猫を、もらってくれろご夫婦の元に連れて行きました。

多分、近くで捨てられたのだと思います。小さな命の灯火が消えずに済んで、本当に良かったです。先輩猫と仲良く、元気に育ってくれることを祈っています。🐱